

「不動産ファンドフォーラム2006イン仙台」  
“地方都市における不動産証券化ビジネスセミナー”

日 時：平成18年6月23日（金） 14：00～18：00（受付13：30～）

会 場：仙台市戦災復興記念館 2階記念ホール

（仙台市青葉区大町2-12-1） TEL 022-263-6931

参加費：5000円

共 催：アセットブレインズ仙台ネットワーク / 辻・本郷税理士法人

後 援：河北新報社・建設新聞社・仙台経済界

■第1部 『森トラストの考える21世紀の新しい街づくり』

講 師：森トラスト株式会社 専務取締役 吉田 武

- ◇ 青葉区一番町一丁目(東北学院中・高跡地)の大規模プロジェクト構想
- ◇ 森トラストの第三ステージ「複合企業体」への事業展開について

■第2部 『開発型不動産証券化の概要と実践手法』

講 師：オリックス株式会社 東北ブロック長 木本 幸憲

- ◇ 地方企業における不動産証券化ビジネスとオリックスの役割について
- ◇ 開発型不動産証券化の基本的仕組みと事例研究

■第3部 『仙台・東北圏の最新不動産証券化事情』

講 師：アセットブレインズ仙台ネットワーク 事務局長 佐々木 正之

『質疑応答 / 名刺交換』

ご 案 内

不動産証券化は、不動産建設業界・金融業界における大きな流れとなり、市場規模は平成9年度末で約600億円でしたが、平成17年度末には約20兆円と飛躍的な伸びを見せています。社会的認識も高まって、首都圏においてはまさにヒートアップし、極端な物件不足に陥っているという状況です。

そこでいま注目されているのが地方都市。仙台圏においても、不動産ファンド会社が積極的な物件取得に動き始め、最近、入札方式による高値取引が続出しています。

第1部では、平成17年11月に東北学院中・高校跡地（仙台市青葉区一番町、敷地面積16,651.77㎡）を取得した森トラスト様様に「21世紀の新しい都市づくり」について講演していただきます。

第2部は、不動産証券化市場で最も注目されている手法、不動産開発・運営・投資の3要素を結合させる技術である「開発型証券化」についてオリックス様様にわかりやすく解説していただきます。

第3部は、最近の仙台・東北圏の証券化事情について解説いたします。

本フォーラムが不動産証券化関連プレイヤーの皆様のお役に立てれば幸いです。趣旨のご理解とご賛同をいただき、是非ともご参加を賜りますようお願い申し上げます。

お申込方法

裏面参加申込書に必要事項を記入しFAXにて申込

FAX：022-263-7742